



今泉台町内会たより



「防災・減災行動調査表」アンケート特集号

編集・発行：今泉台町内会 鎌倉市今泉台4-6-13 電話 46-4616

★「減災・防災行動」調査結果報告

(防災部)

本年2月の班長会でアンケートのご協力をお願いした「減災・防災行動調査表」回答集計が纏まりましたので、その結果をご報告します。

1. 回収状況

本年3月現在町内の世帯数は1973世帯で、986件(50%)の回答を頂きました。

2. 質問項目に対する回答内容は次の通りです。

問1 大災害への備え

1. 1 備蓄、減災・防災器具

- | | |
|-----------------------|----------|
| ① 3日分以上の飲料水備蓄している | 680件/69% |
| ② 3日分以上の食料を備蓄している | 647件/66% |
| ③ 非常時持出品を準備している | 441件/45% |
| ④ 風呂の残り湯を溜め置きしている | 514件/52% |
| ⑤ 非常用トイレを準備している | 398件/40% |
| ⑥ 消火器を準備している | 550件/56% |
| ⑦ 家族安心カードを冷蔵庫に保管している | 622件/63% |
| ⑧ 家族安心カードを定期的に見直ししている | 231件/23% |

1. 2 家具類・電気製品の転倒・落下・移動防止

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ① 家具類・電気製品の転倒・落下・移動防止用留め具を取付けている | 447件/45% |
|----------------------------------|----------|

1. 3 建物の耐震対策

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ① 何年に建てたか知っている | 748件/76% |
| -1 1981年以前 | 419件/42% |
| -2 1981年以降 | 514件/52% |
| ② 市が耐震診断の推奨・補助をしていることを知っている | 350件/35% |
| ③ 耐震診断を受けた | 110件/11% |
| ④ 耐震診断を受けたいと思っている | 143件/15% |

1. 4 大地震収束直後の行動

- ① 発生後、ガスを止める、ブレーカーを切る等を心に留めている 807件/82%
- ② 自分と家族の安全確保後、玄関先に黄旗を掲げるよう準備している 732件/74%
- ③ 家族で災害時連絡方法を決めている 401件/41%
- ④ NTT等の伝言ダイヤル・伝言板や市の情報メールを利用する準備はできている 268件/27%
- ⑤ 災害時集合場所を確認している 603件/61%

問2 隣近所との声掛け

- ① 日頃から挨拶・声掛けをするようにしている 778件/79%
- ② 日頃から近所の災害弱者に声掛けしている 192件/19%

問3 災害後、自分と家族の安全確保の上、行いたいこと

- ① 隣近所で黄旗が掲げられていないお宅へ声を掛ける 565件/57%
- ② 倒壊家屋へは1人で行動せず、応援者を求める 774件/78%
- ③ 倒壊家屋内部の被災者を応援者と共に救出・救護する 743件/75%
- ④ 隣近所に水・食料を融通する 793件/80%
- ⑤ 防災委員・班長等が黄旗掲出・集合場所への移動者数・倒壊家屋数を丁目リーダー或いは町内会役員を経由して報告することを知っている 553件/56%

問4 避難行動要支援者支援制度に基づき市に600名が登録されていることを

- ① 制度を知っている 336件/34%
- ② 既に登録している 54件/5%

問5 減災・防災活動を進めるため、隣近所の住民集会を催すことに

- ① 興味・関心がある 338件/34%

以上の集計結果から、次のことが伺えます。

- ① 緊急時の対応、近隣への声掛けや共助についての認識度・関心は高い
 - ・水・食料の備蓄
 - ・家族安心カードを保管
 - ・地震発生後ガス・電気を止める等を心に留める
 - ・黄旗の準備
 - ・近隣への声掛け、被災者の救出救護、水・食料の融通
- ② 一方、非常用持出し品・耐震対策・家族の連絡方法・要支援者制度への認識度・関心は50%未満であり、防災への関心・認識度は高いものの、具体的な準備行動へは結びついていない面が多い
 - ・非常時持出し品・非常用トイレを準備
 - ・転倒・落下防止措置
 - ・耐震診断



- ・家族の連絡方法・伝言ダイヤル等の準備
- ・要支援者制度への関心

3. 自由記述について

① アンケートでお願いした自由記述は別表の通り75件頂きましたが、特に次のようなご意見を多く頂きました。

- ・アンケートは考える/見直す良い機会になった、知らない事が多かった等 21件
(一方、高齢者にとり読むのが負担、転記が面倒、等4件)
- ・声掛け/共助へのコメント(高齢で出来ない、等を含む) 17件
- ・備蓄対策している/考える14件
- ・情報(備蓄品・災害情報入手方法、等) 11件



② また、次のようなご質問がありました。

- ・家族安心カードをもう一度欲しい ⇒ 町内会事務局にお申出下さい
- ・要支援者に登録したい ⇒ 対象者(後期高齢者:75歳以上の方)には市より毎秋に照会があります
- ・黄旗・避難場所を周知して欲しい ⇒ 3月の一斉防災訓練で周知します。
- ・空家対策 ⇒ 市担当課とも折衝しています。
- ・玉縄台の防災活動 ⇒ 近々調査します



③ その他、次のようなご意見が有りました。

- ・夏場のクリーンデイの作業開始を9時に早めて欲しい
⇒ 各班にお任せしています。
- ・夜の見回りいつも感謝しております
⇒ 有難うございます。パトロール員の励みになります。

4. 今後の方針

今回のアンケート結果を、町内会ではより具体的な防災活動に反映させるべく、新たに発足した地区委員制度との連携を図りながら、諸施策に反映して行きます。

減災・防災行動調査自由記述一覧

NO.	丁目	組-班	自由記述
1		1-1	大きな課題ではあるが、道路を作る事が重要だと思う。今の俣では、外部との連絡が困難になると思う。
2		1-3	この防災行動調査表をやり、自分も皆様に協力するように努力しないと…と気付きました。
3	1	1-3	耐震工事を施工している。
4		1-3	非常時持出品については、盗難の心配と自宅避難を想定しているため準備をしていない。
5		1-3	家具類等の転倒・落下・移動防止器具については、家具や壁等に傷が付いてしまうので、取付けに躊躇している。

6	1-4	震災の直後、町内会委員の方が巡回に来られ、「この町内は場所柄各家庭で1週間分の水と食料を備蓄しなければならないのだ」と強く仰っていたことが切掛けで、それ以来その教えを守っています。各家庭の備蓄についてのアイデア(具体的なお勧めの物や入手方法等)の情報を交換して全所帯の参加を目指し取組めると良いと思います。	
7	1-4	熱心なご活躍、感謝申し上げます。	
8	5-2	ご多忙の中、種々ご配慮戴き感謝致しております。大変参考になり、これからも対応対策により一層努力したいと思っております。これからも宜しくお願い申し上げます。	
9	6-1	新耐震基準で建築しております。火災保険もその契約になっております。自宅に居るのが一番安全と思っています。	
10	2	6-4	今回、防災行動調査表・3月10日の防災訓練実施について、等の書類は他のお知らせのものと別に回覧したらどうでしょうか。余りにも書類が多く、見落とししたり、回答用紙を回覧版に其の俵付けておいたりかなり混乱しました。読む人のことを、年齢層を考慮して欲しい。
11	6-5	我が家は2人とも後期高齢者、まず自分達、そして班の人達も高齢だったり町内会を抜けたり、普段から付合いたがらない人達の中で、以前の住民とは声を掛けあっています。	
12	3	8-3	高齢者、歩行困難の為、非常時は如何するか、常に考えています。
13	8-3	火災地震の保険に入っている。軽い鉄骨の家なので自家は地震に強いと業者に言われている。	
14	9-1	以前パットの避難が話題になっていましたがこの頃は全然話に出ません。その点はどうすれば良いのか教えて下さい。	
15	9-1	災害への準備できていないので、これから少しずつ備えて行きたいと思えます。	
16	9-1	災害が起こった時、住民のチームワークが大事と強く思っているため、心掛けたいと思っています。	
17	3	9-2	自分自身脚が不自由なため他人様の救助まではとてもできませんし、避難場所への移動も難しいと思いますので、何とか自宅でカギバール出来るよう備えています。ただ、電気が止まればお手上げ状態になることは、東日本大震災の時に経験済みですので、電池やカギバール、懐炉等定期的に補充を忘れないようにしたいです。
18	9-2	家族安心カードをもう一度欲しい。	
19	9-2	今回、調査票記入によって色々見直す場を作って頂き有難うございました。黄旗も大事に締めておくのでは駄目ですね。3日間の食料・簡易トイレも点検しました。携帯電話を変更したので新しい機種の災害用伝言版が操作できるようにします。	
20	9-2	知らない事が多かった。要支援者登録制度に登録したい。	
21	9-3	最近TVで細菌が繁殖するので溜置き水は使わないとの放送を見ました。	
22	9-3	忘れてしまうので、しつこいくらい黄旗の件、避難場所等知らせて貰うと良い。	

23		10-1	何時も考えている様で殆ど対策はしていない。
24		10-2	対応力の現状が不十分な事を改めて自覚しました。
25		11-1	町内にｺﾝﾋﾞ二等ありませんし、ご近所さんと中々関りを持ってません。私事ですが今年に入って隣近所の方々と新年のご挨拶もしてません。今泉台に越してきて11年目です。私も夫も社交家の方ですが残念です。お1人位何かと話せる方が欲しいです。
26		11-1	今回の調査表によってまだまだ準備できていない事が多いと感じました。ご近所で助け合う事は大切です。出来るだけの事はしたいと思っています。しかし現実になった時どれだけのことができるか自信がありません。日頃の準備が大切だと感じました。
27		11-1	災害時には助け合いの精神がより多く働き、良い方向性に向う事になればと思います。それには日頃の訓練・近所との挨拶など顔見知りが必要と思われます。
28		11-3	ﾊﾟｯﾄがいるので避難所へは行けず、災害の時など不安です。
29		11-3	要支援者です。
30		11-3	改めて自分が要支援者であるという事を実感しています。どうぞ宜しく。
31		12-3	空家の防災管理及び雑草等、厳しく指導して。
32		12-4	大地震の後、黄旗を掲げることに意識が及ぶかどうか心許ない。備蓄品は多岐に亘るので家族分で精一杯で、融通し合う量としては自信がない。早急な水・食料の公的支援が必要。
33		不明	ﾌﾞｯｸ方法について、転記は面倒/間違える。工夫して下さい。
34	4	13-1	組毎・班毎の常にｺﾐｭﾆｬｰｼﾞｮﾝを取っておくのが大事と思っている。
35		13-1	知らなかったことがあったことに気付かされました。
36		13-1	特に高齢者が多いこの地域で組織や決り事が多くなると、大災害時には却って混乱を起こすように思います。優先順位を示し、ｼｯﾌﾟﾙで分り易い行動ﾊﾟﾀｰﾝにした方が、結果的には住民の認識を共有できるかと思えます。現状は「よく判らない」というのが実感です。防災部の皆様のご苦勞が勿体ないです。
37	4	14-3	消火器は、市商簿当局にて町内に設置している消火器が玄関先板塀に設置されているので、万一の場合使用させて貰います。
38		17-2	定期的に見直す必要があると思います。
39		18-1	防災器具・食品の販売会を町内会館で実施したらどうか。
40		18-2	このようなﾌﾞｯｸは初めてですが、良いことだと思いますが、問題は <u>具体的な対応</u> が出来ているか、という確認をすることで、第二回のﾌﾞｯｸは工夫が必要。高い所から見る目線が問題である。日本の行政の欠点である(共通している)。毎月の町内会たよりで家庭で何をすべきかを毎号具体的に書く努力が必要。具体的に触れる、例えば飲料水の保管等(3日間は目安ですから)

41	18-2	2011.3.11 の時は防災加力のノウハウが一切なかったが、今後同規模の事象が起っても対処はされないのか知りたい。ライフラインや水の備蓄の配給がどの程度/量なのかも知っておいた方がよい。備えの心積もりになるので。町の備蓄を当てにしている人も多いので、はっきりさせた方が先々に正しい判断となると思う。
42	19-1	このチェックで出来ていないことが多いことが判りました、少しずつやっけていきます。
43	19-3	早急な道路の確保は必要不可欠と思います。
44	19-3	お疲れ様です。町内会の方々の貴重な時間で防災の為色々とお世話戴きまして感謝しております。我家でも改めて防災について話し合っけていきたいと思ひます。
45	21-1	A5位の厚紙に地震発生後にやるべき手順を大きい文字で書いたものと災害時の班の避難場所の簡易地図を全戸に配って欲しい。パニックになっている頭ではまともに行動する自信が有りません。訓練参加者が毎回少ないです。中々難しいですね。リーガ-の長谷川様には大変感謝しています。ハットはどうしたら良いのでしょうか…
46	21-1	防災委員の方が熱心に取り組んでおられる事に感謝しております。且つそれに中々応えられずにおります事お許し下さい。
47	21-1	家族第一です。共助は二の次となります。大災害が起ったらどうするかは、まず家族で話し合う。
48	21-1	このアンケートを高年齢の方に答えて頂くのは読むだけで大変だと思います。回答率が低いのでは？(10-11月防災に対する認識度かと思ひます。)
49	21-2	黄旗掲示による訓練は大変良いことだと思ひているが、実際の災害時に掲示する基準や判断、行動力、災害対処の優先すべき行動かどうか等、更に有効に(災害時に機能)する為の工夫が必要と思ひています。
50	21-4	アンケート集計を定期的(1年毎)に行っけて欲しい。
51	21-5	本アンケート用紙の回答欄の行間が非常に狭く、記入するのに大変な難儀をする。本紙原案作成者は本人自身で記入してみても?
52	22-1	災害が発生した時に今小まで避難するのは逆に危険だと思ひるので、日頃から隣近所と声掛けあい、災害時には助け合っけた方が良く心掛けています。
53	24-1	調査で確認するのはとても良い事ですね！丁目毎の集合場所は訓練の時集まった所と再確認しました。携帯の災害対策アプリ初めて見ました。いざという時使えます。
54	24-1	記入者は昨年引越してきたばかりで当地での詳細不明。
55	24-1	防災の単位を班とは別にもっと近隣で組まなければ実効性が無いでしょう。30戸近くが背中合せでは面識の無い同志で共助等無理があると思ひます。
56	24-1	日頃挨拶しても無視する近隣者は大災害時にどのような行動を取るでしょうか。大災害はいつどんな時に発生するか予測出来ません。近隣者

		を含む此の町会の住民が皆々明るく日頃挨拶が出来るようになりたいものです。
57	24-1	備蓄・防災器具を今一度しっかり見直したいと思った。災害時ご近所と協力出来るように日頃からの挨拶・声掛けは大事だと思った。
58	24-2	93歳と88歳の所帯（共に要介護2級）で災害弱者に間違い無いのですが、市への要支援者登録は書類その他を提出する必要があるのでしょうか。災害時近隣助け合いは必要且つ当然の事ですが、体力・老化で如何とも出来ません。
59	24-2	昨年10月からこちらに移りましたので細かい事は承知していません。災害はとても大きな出来事ですので、出来るだけ助け合いたと思っています。
60	24-2	近所で助け合うのは素晴らしい事で、その様に出来たらとは思いますが、実際は自分の事で精一杯で人の事まで考える余裕があるかどうか…。自信がありません。普段から交流があるのは必要かと思えます。
61	24-2	今泉台の防災活動は確りしていざという時あわてず頼りにできると信頼し、安心しています。防災委員の方々に感謝しています。
62	24-2	黄旗・連絡網・要支援者支援制度についてはあまり知らない。特に黄旗については未経験の為、また支援制度は情報が無く、実情が判らない。
63	25-5	自宅は岩盤の上に鉄骨で立っている。家の中に居る時は安全。それよりも出掛け先で出会うと大変です！鎌倉の家の付近の避難所に戻って行くまで大変ではないかと思えます。
64	27-2	今回の調査を実施して頂いた事で日頃の備えが余りに足りていない事自覚する機会となりました。これを機に見直しをしたいと思えます。有難うございました。
65	27-3	耐震検査はリフォーム時に業者に依頼し、97%となっている。
66	28-1	個人情報の問題があるのですが、合同訓練や会議のあまり類型的なものでなく、玉縄台のような密度のある活動になるのが理想だと思います。
67	28-2	要支援者として鎌倉市に登録する方法をお教え下さい。
68	28-2	マルチ式のトイレの設置をできるだけ早く実現して欲しい。
69	28-4	日頃の無関心さが…申し訳ない気分。
70	28-4	災害時、水・食料等の手当に意識が行きがちですが、被災直後すぐにも対策を取るべき問題に「排泄」「廃棄」があります。電気・水道の停止した状態でのトイレと排泄物処理、避難所等でのゴミや不用品の処理等、どのような対策を考えておられるのか、今一つよく判らないので教えて頂ければ幸いです。
71	28-5	回答用紙に書き入れ乍ら、もっともっと話し合っていないと、反省。
72	28-5	このようなアンケートに記入して見て全然不足していることに今更乍ら気付きました。もっと心して取り組まないといけませんね。
73	28-5	改めて準備が不十分な事に気付かされました。

74	29-4	減災・防災行動は向う三軒両隣がまず基本と考える。今の班体制はこれに矛盾しており再考の要あり。町内の全員がこの考えにより行動すれば防災の初期行動は達成されるのではないか。
75	30-3	左隣右隣お向いと家人が住んで居られないので心細い時があります。

